

市民活動ステーションくらくら館
館長 小室 幸子 様

加須市長 大 橋 良 一

出前市長室における御要望等に対する市の対応状況について

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

過日は、出前市長室を開催していただきまして、厚くお礼を申し上げます。

当日、皆様方からお伺いしました貴重な御要望等に対しまして、基本的な考え方あるいは方向等についてお話し申し上げましたが、さらに調整をした事項について、御報告いたします。

今後とも市政運営に御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

No.	項目	要望等の概要	対応状況
1	自然環境を考 える会 瀧川氏 しずくの会 石井氏	くらくら館の登録団体が増加してきたことはよいことなのだが、これにより団体に送付する書類等の費用が課題となってきた。登録団体は様々な地域にあることから、各地域にある拠点施設（総合支所、生涯学習施設、図書館等）に郵送物を預け、登録団体に最寄りの拠点施設で受領していただくことを考え、アスタホールで実践してみたが、郵送物に個人名があることや受領に伺わない団体があり、長期に郵送物を預けてしまうこともあったことから、施設側からも望ましくないとのことであった。何かよい方法はないものか。	文化・学習センターでの経緯を考慮し、各総合支所の市民活動団体窓口である地域振興課の担当者と、各地域の登録団体の郵送物の保管及び手渡しの事務について協議したところ、支障なしとのことだった。よって、登録団体の意向を確認し、各地域振興課にて登録団体の郵送物を受領することについて、市、くらくら館及びまちネットの3者で協議し、具体的な方法を検討していく。 【市民協働推進課】 【文化・学習センター】 【図書館課】
2	加須地域女性 会連合会 西浦氏	近年、文化祭等において、検便が徹底されており、これまで以上に費用が掛かっている。そこで、保健所ではなく、民間のメディカルセンターに確認したとこ	公民館で開催する地区文化祭の参加団体が実施する検便実施情報について、来年度も市が取りまとめていくとともに、各団体に情報提供していく。 【生涯学習課】

		<p>ろ、100件以上まとめれば、安価になるとのことであった。今回、生涯学習課の公民館担当が取りまとめてくれたが、これを今後も継続して行っていただきたい。</p>	
3	<p>くらしの会 杉沢氏</p>	<p>事業を企画し、多くの方を集めるには、早くから周知等することが重要であると考えている。そのような中で、公共施設の予約の時期に疑問がある。加須地域にある公共施設の多くは、1年ほど前から予約できるのに対し、他の3地域については3ヶ月ほど前からというのが多い。様々な地域で事業を企画していきたいことから、3地域の公共施設を使用しているが、少なくとも6ヶ月前から予約できるようにしていただきたい。</p>	<p>公共施設の事前予約の時期について一部の施設を確認したところ、市民総合会館や文化・学習センターの大規模施設のホール等の利用については、多くの方が来場するため、早くから準備をすることが想定されることから、1年前からの予約が可能となっており、北川辺・大利根文化・学習センター（騎西を除く）においては、ホールは利用者の準備期間等を考慮し、6ヶ月前からの予約が可能となっている。</p> <p>また、各文化・学習センターのホール以外の部屋は、3ヶ月前からの予約となるが、ホール等と併用して利用する場合は1年又は6ヶ月前からの予約が可能となっている。</p> <p>なお、現在市民プラザと各文化・学習センターは、施設情報管理システムにより、相互の施設の予約状況が確認できる体制となっている。</p> <p>さらに、コミュニティセンター等の小規模施設の利用については、地域活動に利用されやすいように身近な施設として配置されており、長期的な準備が必要ないことから3ヶ月前からの予約となっている。</p> <p>このように、現在は各公共施設の機能や利用者の活動内容に応じた予約受付を行っている状況である。今後については、公共施設等のあり方に関する基本的な方針を示した「加須市公共施設等管理計画」において各施設のあり方や適切な運営方法等を総合的に検討していく。</p> <p>【業務改善課】</p>
4	<p>くらしの会 杉沢氏</p>	<p>本会は事務局が加須地域ということで、加須地域コミュニティ協議会の会員となっている。しかし、本会は、全ての地域（加須、騎西、北川辺、大利根）の会員がおり、加須地域以外の会員が加須地域コミュニティ協議会の活動に参加すると、周りは違和感を覚えているようである。また、本会が加須地域コミュニティ協議会に属していることから、他地域のコミュニティ</p>	<p>団体の事情を踏まえ、他地域のコミュニティ協議会の活動に参加した際にも理解が得られるよう、各地域コミュニティ協議会と連携を図っていく。また、シラコバト賞の推薦方法に関しては、加須市コミュニティ協議会に検討をお願いする。</p> <p>【市民協働推進課】</p>

		協議会の活動に参加できない。これまでに、シラコバト賞の推薦の件などでも問題があった。	
5	みんなのちからいいね倶楽部 戸ヶ崎氏	リサイクル品などのものづくりで人が集い、認知症や介護の予防に繋がればと活動している。そのような活動の一環で、コミュニティバスを利用したことがあるが、中々利用されていない様子であった。本会の会員からは、仕組みがよく分からなく、きちんと説明してくれる場所があった方がよいという意見、バス停に椅子があった方がよいという意見、運転手が怖いという意見があった。	<p>運行の仕組みについては、特にデマンド型乗合タクシーの場合、利用登録の手続の際に、運行方法や予約方法などを詳しく説明させていただいている。</p> <p>バス停にイスを設置することについては、各停留所の利用状況等を考慮しながら、必要性が高い箇所への設置を検討する。</p> <p>運転手の対応については、各運行事業所の責任者を通じて改めて指導済である。</p> <p>コミュニティバス「かぞ絆号」の運行に当たっては、平成24年10月の運行開始以来、市民からの要望等を踏まえ、必要な改善を行っているが、一方で、車両の増車や運行経路の延伸に伴い、運行改善に併せて運行経費の負担も増えている。</p> <p>今後も利用者の声を大切にしながら、必要に応じて運行方法の改善を検討し、運行経費等とのバランスを考慮しながら、利用しやすいコミュニティバスの運行に努めていく。</p> <p>【政策調整課】</p>
6	北川辺地域まちづくりの会 小櫃氏	合併から10年が経過した。更なる一体感を目指すため、加須市の音頭・歌を作っていただきたい。ハード事業も大切だが、今後は、文化的な向上も図るべきと考えている。地域のお祭りで流すことや、ごみ収集車による収集時に、集積所で流すことにより、収集に来たことが分かるようになるとともに、歌の普及が期待できる。ぜひ検討してほしい。	<p>市の歌を作成する場合、様々な世代の市民に受入れられ、長く歌われるものがよいと考える。大人も子供も満足し、何十年後も歌い継がれなくてはならない。そのためには、様々な市民の意見を伺い、作成する・作成しないを含め、時間をかけて検討を進めていく。</p> <p>【総務課】</p>
7	大利根マジッククラブ 石和田氏	くらくら館の運営費は足りているのか。スタッフ賃金が足りないとの話を聞いている。そうした中で、最低労働賃金等は支払われているのか。また「まちづくりネットワーク・かぞ」にも補助金が出ているようだが、そちらの補助金からくらくら館への補助金を出すことはできないか。	<p>まちネットには、市から2種類の補助金を交付しており、1つはくらくら館管理運営分、もう1つはまちネット管理運営分である。</p> <p>くらくら館分の補助金は、人件費も含めた管理運営費分として交付しており、その補助金と事業収入をもとに、予算の範囲内で事業を執行している。</p> <p>なお、くらくら館事業とまちネット事業は、運営主体はともにまちネットだが、別事業で別予算という形で運営しており、まちネット事業の予算をくらくら館事業の予算へ流用したこ</p>

			<p>とはない。</p> <p>まず、くらくら館の現状の体制で、支出を削減できるところはないか、また逆に支出すべきところはないか等を一通り確認し、事業予算の適正化を図った上で、必要な予算の不足が懸念される場合は、収入増及び支出減の様々な方策について、市、くらくら館及びまちネットの3者でよく協議していく。</p> <p>【市民協働推進課】</p>
--	--	--	---

担当 加須市役所
秘書課 白戸
(Tel. 0480-62-1111 内線 316)